

(8) 水道工学研修

研修のプラス面での評価としては、研修の有用性に関して「大変役に立っている」(派遣元 72.4%、研修生 70.6%)「役に立っている」(派遣元 24.1%、研修生 19.6%)が多く、この二つのカテゴリーで90%以上を占めている。派遣元、研修生共に有意義と評価しており、若干ではあるが派遣元の方が高い評価をしている。このことは職場としても研修の効果を評価しているものであり、客観的にも高い評価を得たと言ってよいと考えている。

講義等の内容別の調査でも、全てで90%以上が「良い」、「やや良い」の評価を得ており、講義内容も全体的に評価は高かった。知見を広げることができたという点に関しては、全員が評価しており、満足度は高いと考えられる。

個別の意見では、本研修では、総論から技術的な各論まで水道工学に関する講義が体系的に網羅されており、水道行政及び水道事業に携わる実務者の技術や知見、知識を向上させるのに大きく寄与していると感じたとの感想が多く寄せられ、高い評価を得ている。また、水道工学分野ではこのような体系的な研修は他になく、長期的視野に立った研修効果を考えた場合、研修生の態度が積極的になり意識が向上した、科学院職員や研修生同士のネットワークが形成され実務上も有意義との意見も多く寄せられた。

マイナス面での評価としては「全く役に立っていない」(「役に立っていない」という評価はなかった)が1件あったが、これは別の職場に異動したことが理由であった。しかし現在の職務内容が変わったとするものが20%程度いるのも関わらず、90%以上が「大変役に立っている」、「役に立っている」と評価しており、上記1名はかなり特殊なケースと考えられる。自由記載意見でも、職務が変わっても後輩の指導等に役立っているという意見もあり、研修生の主観的な評価に左右される可能性のある部分である。アンケート時点で業務内容が変わっていることによって評価が変わることも考えられるため、設問を検討する必要がある。また低い評価を受けた場合の具体的な理由を聞き出す工夫も必要と思われる。

今後の研修に関する要望の中では、本研修が6週間と比較的長い期間であるにもかかわらず、一層長くして欲しいとの意見も見られた。一方で、レベル別研修や期間を区切った個別分野の研修の要望や、予算編成時期を避けて欲しい、特定の内容を追加して欲しい、経験年数の短いものにも対象を広げて欲しい、過去に研修を受講したものに対する継続能力開発を目的としたプログラムを別に実施して欲しいなどの多様な要望があった。

全体としてある方向へ修正すべきとの複数回答はなく、それぞれの意見は研修生の職務、経歴等による要望の違いとして現れているものと考えられる。従って短期的、長期的に本研修を大きく改善すべき点は本調査からは見あたらないが、短期的には従

来の研修評価で出た個別の要望やフォローアップ調査で相対的に評価が低かった分野について、随時検討を行い改善できるものについては対応をするつもりである。派遣元の95%以上が本研修へ派遣したい、研修生のすべてが他の人に研修を勧めると回答しており、長期的課題としては本研修のレベルを維持し、これまで通り多くの研修生に受講してもらうこと維持することである。本研修の長期的課題とは別であるが、フォローアップ調査の結果からは本研修以外にもう少し短期の研修や、レベル別、分野別の研修の要望がある。当部ではすでに「水道クリプトスポリジウム試験法に係る技術研修」を実施しており、人員、予算等の問題があるので内部で十分検討する必要があるが、水道工学部として行う研修の長期的課題として今後新たな研修の開講も視野に入れておく必要がある。

(9) 医療放射線監視研修

1. 回収割合

平成18年度と19年度の受講生は24名であり、派遣元自治体の数は22である。回答は研修受講生から18名（回収割合75%）派遣元自治体から14（回収割合64%）であった。

2. 全般的な評価

本研修は派遣元自治体研修生とも8割の回答者が現在の業務に役立っていると回答した。また、9割の自治体から職員を研修に派遣したいとの意向が寄せられた。これまで本研修に職員を派遣している自治体は本研修が必要であると認識されていたが、計画的に本研修を活用していない自治体が多いことが課題である。

3. 研修へのプラス面での評価

- ・病院立ち入りあるいは医療機関からの問い合わせ事において的確に対応できている
- ・研修受講者が放射線管理にかかる最近の知識を習得し、医療機関への立ち入り検査等に従事するものへ知識が広められていることから医療機関等への平準化された指導が行われている
- ・日常的に現場で指導している内容について、専門知識の裏づけを得ることができたようで、自信を持って指導が行えるようになった
- ・実際の業務遂行において重要なポイントを掴むことができた
- ・病院等の開設許可申請に係る放射線部門審査を各保健所で行っているため、必須な研修である

などのコメントを頂いた。また、研修修了生の中には、異動により行政から医療